

令和4年度

学校教育目標と目指す子ども像

◆ 学校教育目標

「確かな学力、豊かな心、健やかな体」を身に付け、次代を生き抜く子どもの育成

—郷土を愛する子どもを地域とともに育てる—

◆ 目指す子ども像

- 目標に向け、自ら学び、よく考え、進んで実行する子
- 自然を愛し、郷土を愛し、人を愛する子
- 心豊かに、集団や社会の中でたくましく生きていく子
- 誰に対しても、思いやりをもって接することができる子

⇒ 目指す子どもを実現するための具体的な意識・行動について

- ・心を込めた「挨拶」がしっかりとできる【信頼関係の築き】
- ・正しく丁寧な言葉遣いができる【相手を尊重し合い高め合う集団】
- ・授業は集中して真剣に取り組むことができる【学習規律の徹底】
- ・相手の意見を聴き、自分の意見が発表できる【言語活動の質の向上】
- ・家庭学習がしっかりとできる【一人一人の学力向上】
- ・自分や仲間のよさを認め合うことができる【集団の質の向上】

◆ 取組の重点

- 1) 義務教育9年間の『一貫した学び』の指導を展開し、確かな「学力の向上」を図る。
- 2) 各種調査の検証から、個の伸長を促進する「手立て・指導法」の改善とその確立を目指す。
- 3) 豊かで快活な学校生活のさらなる向上を目指し、心身ともに健全な児童生徒を育成する。
- 4) 主体的な集団活動の充実のため、組織的な諸活動を構築する。(成長段階の配慮が必要)
- 5) 地域の現況認識を踏まえ、「地域ぐるみの学校づくり」に向けた具体的な取組を推進する。
- 6) GIGAスクール構想によるICT環境や端末の整備を進め、学習活動の一層の充実を図る。